

令和元年度 第1回国立市地域公共交通会議

令和元年6月18日

【事務局（長谷川）】 それでは定刻となりましたので、令和元年度第1回国立市地域公共交通会議を開催させていただきます。本日は、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

まず、前年度からかわられました委員をご紹介します。

立川バス株式会社の佐藤委員から、島田委員にかわられました。一言お願いいたします。

【島田委員】 ただいまご紹介にあずかりました、立川バスの島田でございます。旅客サービス課長をしております。今後ともよろしくお願いいたします。

【事務局（長谷川）】 島田委員、ありがとうございました。

続いて、新たに市民委員になられた方をご紹介します。北島委員でございます。一言お願いいたします。

【北島委員】 どうもこんにちは。このたび応募による市民枠で参加させていただきました、北島和貴と申します。自己紹介ではないんですけど、私、年は54歳になりまして、生まれも育ちも国立市ということで、公共交通に対して興味がありましたので、応募いたしました。新参者ですけども、ひとつよろしくお願いいたします。

【事務局（長谷川）】 北島委員、ありがとうございます。

続いて、代理のご出席の方を紹介させていただきます。

まず国土交通省関東運輸局東京支局の堀越委員にかわりまして、石川委員でございます。

【石川委員代理】 石川です。よろしく願います。

【事務局（長谷川）】 続きまして京王バス、田崎委員にかわりまして、南波委員が代理出席でございます。

【南波委員代理】 京王バスの南波です。よろしくお願いいたします。

【事務局（長谷川）】 最後に欠席のご連絡をいただいております。立川警察署の青山委員、それから、すみません、市職員の江村が議会对応で欠席となっております。ご了承ください。

本日、委員の半数以上の出席がございますので、本日の公共交通会議は成立となります。

なお前年度から引き続きでございますが、ホームページに議事録等を掲載させていただく関係がございますので、委員のお名前を掲載させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、岡村会長、進行をお願いいたします。

【岡村会長】 それでは、よろしくお願いいたします。

本日の会議、時間の関係で14時45分あたりを目途に言われております。ご協力をお願いいたします。

それでは、資料確認をお願いします。

【事務局（長谷川）】 まず、次第が1枚でございます。続いて資料1「コミュニティバスについて 運行計画等の変更について」、最後に、A3判でくつついてございますが、くにつこの時刻表でございます。

以上3点でございますが、過不足はございませんでしょうか。お持ちでない方がいらっしゃれば、挙手をお願いいたします。

それと、すみません、岡村会長からもありましたが、本日時間の関係で、いつも報告から始めるんですけれども、議題から先に挙げさせていただきたいと思いますので、ご了承ください。

それでは岡村会長、進行をお願いいたします。

【岡村会長】 それでは、議題からということで、(1) 運行計画の変更につきまして、ご説明をお願いします。

【事務局（長谷川）】 それでは資料1をごらんください。

前回の会議で既にご報告している内容でございます。くにつこの北大通りから北側道の部分のルート変更でございますが、前回の資料につきましては、すみません、前回出席されていない北島委員につきましてはお渡し済みでございますが、もともとくにつこの北を走っているルートが、通学路を通っているとか、路地が狭いところもございました。また、北側道が開通したこともございまして、より安全なルートを選ばせていただいたということで、今回、くにつこのルート変更をお願いしているという内容でございます。

経過をお話ししますと、ことしの4月24日だったと思いますけれども、警視庁の方の実査を、立川バスの方と立川警察署、我々市の職員も含めてさせていただいております。結果としては、承認をいただいております。その際に、交通量の確認ですとか、北大通りから南の路地に入る場合、すぐに一時停止の場所があるものですから、その際の車の通行の仕方等を確認してくださいというお話はありましたが、結果として承認をいただいております。

資料の1の運行計画の変更をごらんください。文字だけではなかなかわかりづらいところがあるかと思うんですが、(1) 運行計画等を変更する路線、国立市コミュニティバスくにつこ、北・北西中ルート。ルートの変更ということで、北二丁目から国立駅北口の間の一部です。

(2) 運行計画等の変更について、a) ルートの変更についてです。往路、復路ともに北二丁目6-6先から、国立市道8-3号線を、中央線側道に向かい国立市道18号線の北一丁目14番地51先までの区間を、新規免許取得。

b) 運行距離については、変更はございません。

続いて、c) バス停留所ですけれども、往路、復路ともに北大通り東停留所を廃止いたします。代替停留所については、実際にルートを変更しまして沿線の方々の要望等を踏まえながら、引き続き検討させていただく考えでございます。

最後に、d) 運行ダイヤに変更はございません。ダイヤは別紙を参照いただければと思います。

(3) 運行計画変更の実施時期につきましては、8月1日を予定しております。その8月1日に向けまして、先ほど報告で漏れてしまったんですけれど、警視庁の方からのお話にありました、交通量の調査プラス、バスの運転手さんの目線、ミラー等を考慮して、交差点2カ所にミラーを増設する予定でございます。

まず1番についての事務局からの報告は、以上でございます。

【岡村会長】 この件は、以前からたしか地図なども見せていただいて、このような方向で調整を始めるということであったかと思いますが、ご説明があったとおりおおむね整ってきたということで、本日は審議ということになります。

改めて、何かご質問や確認事項をいただければと思います。いかがでしょうか。

【岡村会長】 確認があれば、ちょっと図を回覧でもしましょうか。

【事務局（長谷川）】 はい。

【事務局（中島）】 弁天通からおりてきて北大通りにぶつかる場所のコンビニ、セブンイレブンがあるかと思いますが、それを南に下って行って、中央線の側道に行きます。そこが新規のルートになって、あと国立駅北口まで行って、ロータリーでUターンして、もとのコースに戻るといったようなルートに変えています。前は、北大通りを東にもう少し進み、ちょっと狭いコースを走って国立駅へ戻り、また北大通りに入る、国分寺側の細くなっているところに入っていったということで、同じ経路ではなかったんですが、今度は同じ経路で往復ができるということが一つあります。

今回に伴って、停留所が2つ、ほとんど使われていなかったんですけども、廃止になります。当面、この新規ルートで運行していただいて、また要望等あれば、停留所は新たに設けていきたいと考えています。

【岡村会長】 ということで、ルートの変更と、現状のバス停留所が廃止ということでございます。何かご発言はございますか。

特にご発言がないということですので、これは審議事項ですので、決をとりたいと思いますけれど、よろしいですか。

それでは改めて、この件を原案どおりご承認いただくということでよろしい方、挙手をお願いします。

（挙手）

【岡村会長】 はい、どうもありがとうございました。原案のとおりご承認いただきました。では、8月1日ということですね。ありがとうございます。

それでは2番目、消費税率見直しに伴う運賃の変更につきまして、ご説明をお願いします。

【事務局（長谷川）】 続きまして、資料1の下段をごらんください。2、消費税率見直しに伴う運賃の変更について、こちらはタイトルどおりでございます。令和元年10月に、まだ現時点では予定ということになっておりますけれども、消費税率の見直しに伴いまして、以下のとおり、くにつこの運賃の変更をさせていただきたいということでございます。

表のとおりでございまして、現金のほうの運賃は変更ございません。IC運賃につきまして、大人料金が175円から178円、子ども料金が88円から89円、その他割引等につきましては、これまでどおりでございます。

ただし、消費税率見直しが先送りになった場合につきましては、変更しないということでございます。

報告は以上でございます。

【岡村会長】 はい。ということで、こちらも審議ですよね。

【事務局（長谷川）】 そうですね。

【岡村会長】 こちらについて、いかがでしょうか。

私の認識が間違っていたら言っていただきたいんですけど、現金とICそれぞれで運賃を設定することになっていて、それぞれに対してこのような申請をするということになりますが、税率の関係とか、そういうことでこのような設定ということで、淡々と計算をするとこうなるということかと思えます。

何かございますか。お願いします。

【石川委員代理】 税率見直しが先送りになった場合には、また改めて協議されるということになるのでしょうか。例えば12月1日からになりますというのであれば、10月1日には移行しないと

いうことになるのでしょうか。

【事務局（中島）】 基本、10月に今のところ税率改正ということで聞いておまして、延期する等は今のところはないですけれども、万が一ということだと思います。その場合は、また書面等で委員の方にはご連絡いたします。多分この税率が変わるということはあまり考えられないので、それが延期されるかどうかということになろうかと思えます。その場合は、またそれに沿った手続きをさせていただこうと考えております。新たに会議をそのために招集することは、今のところ考えていませんので、書面をもって確認させていただくという形にとらせていただきたいと思います。

【石川委員代理】 ありがとうございます。

【岡村会長】 今の、ちょっと細かい話ですけど、もし先送りになって、そのときに税率が上がるときの話ということですね。

【事務局（中島）】 はい。

【岡村会長】 単に先送りになったということであれば、運賃は改定しないということで、これは特に書面も会議もなし、そういうことですね。

ということで、細かい話、手続きにはなりますが、この会議、これをやるのが仕事ということもありますので、ご容赦ください。

何かご発言はございますか。よろしいですか。

そうしますと、こちら、決をとることになります、よろしいですか。

では改めまして、こちらの運賃変更、原案どおりご承認いただける方、挙手をお願いできますでしょうか。

(挙手)

【岡村会長】 ありがとうございます。では、原案どおりでございます。

それでは次に報告でございます。よろしくお願ひします。

【事務局（長谷川）】 3番の報告、(1)コミュニティワゴン青柳ルート、本格運行に伴う今後の予定でございます。こちらにつきましては資料がございません。口頭での説明でございます。

前回の会議で任期を終えられました池田委員の、最後の言葉にもあったかと思うんですけれども、青柳ルートが今年の4月から試行運行から本格運行になりまして、その際、簡単に触れさせていただきましたと前回、ラッピングですとか愛称を考えていますということで、進捗状況のご報告でございます。

今年2月にコミュニティワゴンの青柳ルートの利用促進協議会という組織を立ち上げさせていただきました。構成員としては、自治会の方ですとか、矢川商店会の方、市の職員、銀星交通さんを含めた組織でございます。その中で、愛称ですとかラッピングの話を進めているところでございまして、4月から6月の動きを申し上げますと、既に愛称の候補が挙がっております。6月上旬からまさに先週末まで、幾つか候補がある中で住民の方々、利用者の方々、矢川商店会の方々に投票形式で、一番投票の多いものを愛称にしていこうということを企画して、進行しているところでございます。

現在集計中で、まだ正式な結果は出ていないんですけれども、候補の名前を申し上げますと、「わいわいわゴン」ですとか、「あおやぎっこ」、あとは「やがワゴン」、「ブルーアロー」、そういった候補が幾つかある中で、1票を投じていただいて、最も多いものを最終的に青柳ルートの愛称として、慣れ親しんでいこうということが、直近の動きでございます。

投票数ですが、まだ概算ではあるんですが、200から250ぐらいの数字をいただいています、皆

様かなり興味を持って、投じていただいたのかなと思っております。実際にお配りした投票用紙が500通ぐらいあるうちの二百数十票でございますので、半分近くの皆様が興味を持って投じられたのかなというところであります。

続いてラッピングですけれども、こちらは矢川商店会の方に、ほぼプロと言ってもいいと思うんですが、デザイナーの方がいらっしゃいましたので、その方に大まかなイメージを協議会のほうで決めて、そのイメージを形にしてもらう手続きをお願いしているところでございます。

実際にラッピングとか愛称をつくることで、マイバス意識というんですか、利用の定着、地域の定着を図っていくというのが、利用促進協議会のまさに役割であろうと思っておりますので、そちらを進めていくところでございます。

直近、そのラッピングをして、愛称を決めてどうするのかというところなんですけれども、簡単なお披露目会みたいなことを、今企画しているところでございます。それも矢川商店会の方と協力して、矢川商店会のお祭りが8月下旬にあると聞いておりますので、今、そちらに目標を設定して、お祭りでお披露目会という形でできたら、ということで進めているところでございます。

正式な愛称の決定ですとか、大まかな車両ラッピングのイメージにつきましては、8月の市報、ホームページなどでお知らせなどを検討しているところでございます。

今のところ順調に話が進んでいるのかなというところで、直近の事務局の報告でございます。

色につきましては大体決まっています、利用促進協議会のほうで青柳の青をとって、ブルーで行こうということで、青を基調としたワゴンです。今は真っ白でラインが入っているだけの、よく介護タクシーかと言われてしまうこともあるんですけれども、ぱっと見てワゴンが来たということがわかるような、派手というのは言い過ぎかもしれませんが、フルラッピングで、真っ青なイメージで考えているところでございます。その青は、水色というよりは、もっと濃い青をイメージしていただければと思います。

報告は以上でございます。

【岡村会長】 ということだそうですが、何かございますか。

たしか、前回か、前々回あたりに、その原案の原案というか、素案のイメージのようなものが、つくっていただいたものをたしか回覧したような記憶がありますが。

【事務局（中島）】 あれをもう少しすっきりさせたような形になろうかと。ちょっと派手目だったものですか。

【事務局（長谷川）】 遠目で、薄くてすみません。ちょっとこれはまだ、「ヤガワゴン」という名前です、仮でつくっていただいたものなんですけれども。青はもうちょっと濃い青になるかなと。これもまだイメージでございますので。基本的に青を基調とするということは変わらないかなと。あとは愛称とか、矢川のマスコットで「やがわん」が映っているんですけれども、これをどうするかですとか、細かいところの調整はあろうかと思っておりますけれども、こんなイメージで進めているところです。

【北島委員】 よろしいでしょうか。それは何台ぐらいつくられるんですか。

【事務局（長谷川）】 今は1台で回していますので、もちろん予備車というのはあるんですけれども、コストの関係で1台だけラッピングさせていただこうかなと思っています。

【北島委員】 わかりました。ありがとうございます。

【岡村会長】 何かございますか。

はい、どうぞ。

【石川委員代理】 わかっている部分で構わないので、今のところの利用者数を教えていただければと。

【岡村会長】 例年、ご報告をいただいていたところでもありますが。

【事務局（長谷川）】 そうですね。おっしゃるとおり、利用基準の目標ということで、利用者数をこれから毎年報告するというので、前年度の会議で決まっているところでございます。今、具体的な数字はまだ手元にないので恐縮なんですけれども、おおむね1日65人ぐらい、2年前とかが50後半ぐらいの数字から、微増という表現でよろしいですかね、減ってはいないと。毎年、前年と比較した数字を見させていただいているんですけれども、同じ数字か、前年よりも大きい月がほぼ多いかなというのが、最新の状況でございましょうか。

【石川委員代理】 ありがとうございます。

【岡村会長】 あまり多いと全員乗れないということもありますので、個人的な感覚ですけど、今より何割かお客さんが増えたぐらいの状況が、それから乗れないという状況もないというようなところでしょうか。もう少し乗っていただいても、まだ大丈夫ですか、十分大丈夫ですか。

【事務局（谷口）】 一日22便で、1日当たり65人ぐらいですので、ならば大丈夫なんですけど、一時、朝の10時ぐらいに矢川駅に着くのが、時々満員になったようなお話を伺ったことがあるんですけど、最近はどうでしょうか。

【事務局（中島）】 予備車を出すほどではないんですけれども、ほぼ満員になるケースが結構、何回かあったので。

【原田委員】 今もご説明があったとおり、雨が降ったりすると10時前後の時間帯は、予備車を出すような状況です。予備車を出しますと待っているお客様に言って、何分ぐらいですかと言われて、10分から15分ぐらいですと言うと、じゃあ、結構ですと、このパターンが多いです。うちのほうではやはり、お客様になるべく前後に時間をずらしてと、お願いするようときがあるんですけど、なかなかうまくいかないことが多いですね。

あと、今の新たなラッピングとか名称とかについては、地元の人たちに聞いた話では非常に、我々はただ縁の下の力持ちで、意見はなるべく言わないようにして、地元の商店街と住民の方々の方でつくったものが動いたらいいなというイメージなので、その辺は非常に、市のほうもそこに重きを置いていただいているので、皆さん結構興味を持って、あるいは参加していただいているような雰囲気をすごく感じます。

国立は「くにニャン」というイメージキャラクターがありますが、あれは猫なんです。ところが犬派もいるので、今、長谷川さんから説明がちょっとあったんですけど、矢川のキャラクターの「やがわん」というのは、兜をかぶっている犬なんです。ですからそのキャラをバスに、先ほど描いてありましたが、それもいいねという意見があったり、いろいろ皆さんで話をしているような状況です。会議の内容とか、私も参加させていただいているので、そんな感じです。

【岡村会長】 ありがとうございます。

ほかに何かございますか。

【事務局（谷口）】 ちなみに昨年度の利用者数ですが、合計で1万9,875人でした。運行日数が308日でしたので、先ほど申し上げました64.5人という数字になってございます。おとしが1万8,335人で、運行日数が310日でしたので、1日当たり59.2人でした。ですので、過去に掲げた70人の目標には年間では届かなかったんですが、65人ぐらいまでは来たということ

ろです。

【岡村会長】 ありがとうございます。

この件は大体よろしいですか。また次の機会にもご報告をいただければと思います。

それでは（２）立川バスのダイヤ改正につきましてですが、こちらは立川バスさんから。

【事務局（長谷川）】 よろしければ5月16日付のダイヤ改正につきまして、ご説明をいただければと思います。

【島田委員】 立川バスでございます。先般、5月16日のダイヤ改正ということで実施させていただきました。資料等の配付はございません、口頭のみでご説明申し上げます。

まずコンセプトというか、やるに当たってということに関しましては、輸送の効率化、それと赤字系統であるとか路線に関する見直しといったところに着手した次第でございます。この国立地区に関しましても、特に弊社でいうところの矢川線になるんですが、国立駅から矢川駅、並びに泉団地、国立操車場までの往復をしている路線がございます、そこに関しましても例外なく、ここでダイヤ改正をさせていただきました。

内容といたしましては、今、データを我々もとるようにしてございまして、日々のデータを分析いたしまして、およそ1便当たり2名ないし3名のご利用といったところに関しましては、見直しをしていっているところでございます。特に泉団地、国立操車場に関しましては、我々もいたしましても、出入庫線と言うんですけれども、乗務員の休憩とか、そういったので使っている路線でもございますが、利用が少ないといった判断をさせていただいた中で、多少なりの減便をさせていただいているところでございます。

今後につきましても、ダイヤ改正後の利用実態に関しましても引き続き把握してございまして、もしご不便があるようなところがありましたら、その点に関しましては、お約束はできませんけれども見直しはしていくようなことで、考えてございます。

国立に関しましてのダイヤ改正の趣旨説明は、以上でございます。

【岡村会長】 ありがとうございます。

事務局からは特に、補足というのも変ですけど何かございましたら。

【事務局（中島）】 今回の立川バスさんのダイヤ改正については、議会の一般質問でも取り上げられた経過がございまして、社としてやはりコスト面等で減便せざるを得ないというところは理解できるんですけれども、どんどん減って、悪循環になっていくんじゃないかと。利用者が減って、また便が減って、というところを大分危惧している面がございます。

そういうふうにならないように、この会議もございまして、また市のほうも支援できるところはやっていきたいと考えていますので、また次のダイヤ改正に向けて、もし何かあれば、事前にちょっと言っておいていただければと考えてございまして、よろしく願いいたします。

【岡村会長】 この件はなかなか難しいんですが、これもいろいろところで私も申し上げていますが、お客さんが少ないから便が減るとするのは、以前からも当然あったわけですが、最近はかなり報道されるようになりましたけど、運転手さんがいなくなってきたということで、便数が多いところも減らさざるを得なくて、お客さんはそれほど多くないけれども、一定のお客さんがいるようなところを何とか維持していくには、むしろ多いところをちょっと減らすというようなこともあるというふうに、いろいろところで聞いています。

でするので、以前だったらみんなで乗りましょうということが、直接的に便の維持になっていたんで

すが、それだけでは済まないという状況になってきて、誰がどういう努力をしたらいいかというところは、なかなか難しいところではあるんですが、まずはとにかく乗っていただくということと、あとは、これは市なのかもわかりませんが、運行が効率化できるような総合環境の支援ですとか、所要時間が短くなったらそれをとって回してくれるとかありますので、そういうのを地道にやっていく、積み重ねていくしか、もうないのかなとは思っています。

なので、こういう危機感はずいぶん、この会議なども通じて共有していくことが大事かなと思っているところです。

他に何かいろいろとご発言等あれば、ぜひこの場でと思いますが、いかがでしょう。

はい、お願いします。

【瀧柳委員】 遅れてすいません。瀧柳と申します。今後ともよろしくお願いします。

ダイヤ改正についてはいいんですが、操車場行きは泉団地入り口というバス停の歩道が狭いんですね。それを何とか広げてほしいんです。あそこのバス停を大通りのほうにずらして湯楽の里から出ていくとショッピングセンターお客さんも、大通りのほうにバス停を持ってくれば、お客さんにとっても、車いす利用者にとっても扱いやすいので、バス停の変更と、あと泉団地入り口の乗り場の幅を広げてほしいです。

以上です。

【岡村会長】 泉団地入り口の両側ということで、これはバス事業者さんもそうですけど、道路管理者さんで受けとめていただくところで。多分、位置を動かすとなると、いろいろあるかと思いますが、現状でも多分そこに限らなくて、そういう場所たくさんあるとは思いますが、道路管理者としては、どの場所が車いすが厳しいのか、くにつこはちゃんと、できないところはできないと出てもすけれども、道路管理者は把握しているとは思いますが、できることからぜひ、という。

【蛭間委員】 バスレーンをつくるとなると、用地の問題とかいろいろありますので、できるところは取り組みをやってるんですけども、なかなか時間がかかってしまったりとか。

【瀧柳委員】 あの狭さは事故が起こりますね。回転ができないから。だから大通りのほうにバス停を持ってくれば、歩道が広いので、面積が広がると。

【事務局（谷口）】 ちょっと補足させてください。

（黒板に地図を書く）

広い都道がありまして、確か都道20号だと思います、これに交差する通称石田街道と言っている国立市道です。ここにスーパーバリューという大きなスーパーがあります。で、こっちのほうで甲州街道が、T字になっていまして、こちらでも甲州街道とつながって、ここに泉団地がありまして、ここに国道20号、日野バイパスがあります。

ここに、先ほど島田さんから説明があった、バスの運転士が休憩する国立操車場という車庫があります。ここと、ここに、今バス停があって、ここが歩道が狭いんですね。ここは4車線の広い道で、立派な歩道があるということです。この国立操車場のバス停で降車があって、バスが入って、このバスがここで、乗車のバス停があって、国立操車場というバス停があります。瀧柳さんがおっしゃっているのは多分、この都道沿いにバス停があったら、ということですかね。

【瀧柳委員】 はい。その角を曲がった、そのあたりに1個。

【事務局（谷口）】 曲がってすぐということですか。この辺ですか。

【瀧柳委員】 はい。1個。あと反対側につくったら、バリューのお客さんも使うし。

【事務局（谷口）】 泉団地のバス停がここにあつて、今、通常はこう来たバスが、車庫に行くのは直接こっちに行きます。で、泉団地に行つてから、こう入るのがあります。このバス停は、車庫に行くのと、こちらへ行くのと、両方通りたいんですね。という事情が、多分あるんじゃないかなと。で、やむなくここに停留所があつて、昔はこの道なかつたもので泉団地まで行けなかつたんですね、この道がなかつたから。かなり昔の話だと思いますが、で、今、現状はこうなつています。というところですね。泉大通りへのバス停移設のご要望かなと、私は理解しました。

【事務局（中島）】 コミワゴンをやつていたとき、結局、交通量等も考へて、コンビニがあるので、その出入りでだめだよつていう話になつて、かなり真ん中ぐらゐまで行かないと、バス停が設置できなかつた。

【事務局（谷口）】 そうですね。以前、コミュニティワゴンの「くにっこミニ」というのをやつていたとき、泉ルートというのがありまして。それがやはり、バリューのほうから来て、泉団地まで行かずに日野バイパスの側道に出て、川沿いで、戻つてくるような、話でしたね。だから一応ここに停留所があつた時代はあるんですけど、「くにっこミニ」のことですかね。立川バスさんの停留所は、ここと、ここと、ここという状況になつています。

【岡村会長】 場所が共有できましたので、ここに限らないとは思いますが、もう一つ一つ、そういうのは解決していくということで、場合によっては民地側に少し、難しいとは思いますが、やるとかあるので、これはぜひ引き続きということで。場所はもう記録も残りますから。ということで、お願いいたします。

ほかはいかがでしょうか。

そうしますと、ダイヤ改正についてはそういうことをごさゐました。

次、その他ということで、事務局、何かごさゐますか。

【事務局（長谷川）】 少し時間がありますので、コミュニティサイクルのことを少しご報告さしあげようと思つています。

これは前回は、やりますよというお話をさしあげたんですけども、実際に4月30日から始まつています。市内12カ所にポートを設置しまして、「HALLO CYCLING」さんというシェアサイクルブランドを利用しまして、実働というか自転車の整理等を維持しているのは、府中の会社の「さくらコマース」さんで、自転車の整備をしている状況でござゐます。市がそれに協力する形で、ポートを今、12カ所、最新の状況で提供している状態で、例えば市役所ですとか、図書館、公園が幾つか、国立駅前の広場等を利用して、やつている状況です。

引き続きポートは増やしていきたい考へではござゐますが、目標としては20、30と増やしていきたいんですが、現時点では12です。地域的な偏りがござゐますので、市に満遍なく設置できればというのも、一つの目標としてゐるところでござゐます。

なお自転車につきましては、普通車から電動自転車にかわつておりまして、坂道等スイスイ登れるということが、一つ特徴でござゐます。また市外のほうにも乗り出せて、府中にたくさんポートがあるんですけども、その他国分寺、稲城市、調布市にもござゐますので、多摩地区一帯の、主に多摩川沿いにポートがたくさんあるような状況でござゐます。

支払い方法につきましては、前回のメルチャリのとときと同様に、スマートフォンを使ったクレジット払いでござゐますので、基本的にはスマートフォンありきの事業であると思つていただければと思つています。

利用状況は業者さんのほうから逐一いただいております、やはり国立駅前ですとか、駅に近ければ近いポートのほうが利用率が高いという状況がございます。あと、その他、福祉会館なんかも利用率がなかなか高くて、やっぱり南部があまり利用が多くないのかなという印象があるんですが、国立駅からどこへ、そしてまた国立駅に戻ってくるような、帰着地が同じような利用があるという利用例なんかも出ています。

市内、市外の利用は両方ありまして、どちらかに偏りがあるということは見受けられておりません、市外へ出る自転車もあれば、市外から来る自転車もあるということで、結果として出ている状況でございます。

報告は以上でございます。

【岡村会長】 ということ、私もまだ見たことがなくて、この後見に行きますが、何かございますか。

実験が、以前やったものは終わってしまいましたが、新たなものが入ったということで、ぜひいい方向で続いていくといいなど、個人的には思っています。

【北島委員】 いいですか。今までやっていたのは「メルチャリ」でしたよね。メルチャリはたしか、やめてしまったんですよね。次は「のりすけ」ですか。「のりすけ」で、もういくということで決まってるんですよね。

【事務局（長谷川）】 そうですね、メルチャリのときはあくまで実証実験ということで、3カ月間やらせていただきまして、今回の「のりすけ」につきましては本格実施でございますので、特に期限はありません。

【北島委員】 わかりました。ありがとうございます。

【岡村会長】 ほかに何かございますか。

あと、全体を通して何かご発言は。

【瀧柳委員】 京王バスの国立から聖蹟桜ヶ丘、府中駅行きのバス停は、国立駅周辺の工事が無いとしてもあるといっても、あのバス停だけは変えてほしいです。落っこちたので、雨の日に。今のことは去年も言ったんですが、「くにっこ」のことで昔、これは事務局に言ったんですが、その理由が、市役所から乗るとき、雨で車いすが下から乗るとき、ステップが急坂になるので持ち上げられないというのが乗車拒否の理由だった。仕方がないので、ステップが急坂になるとこだけの工事だけは、市役所に限らず行ってほしいと思います。別の委員会でタクシーを呼んだときに、乗務員が車いすの固定ができなくて、股の下に手を突っ込むことがあって、京王のほうにお手紙を書いたんですが、今までお返事とその行為に対してのお手紙をいただけてなくて5カ月ぐらい前になるんですけど、多分京王のほうから来ないだろうなと思って、あきらめている。ちゃんとバンドをしてないと、いわゆるセクハラ行為だと思うので、バンドのやり方について 徹底的に指導を行ってほしい。訴えることはしなかったけど、場合によっては訴えられる行為なので、それは企業として責務だと思うのでよろしくをお願いします。

【岡村会長】 運転手さん扱いについては、個々の事業者さん等にはありますが、事務局、適宜いろいろ、運転手さんの講習って、実はいろいろなところで、公的にも、会社さんでもいろいろやっているとは聞いていますので、本当はいろいろできているはずですし、運転手さんもそういう経験を積んでいるはずというところだとは思っていますが、これはぜひやっていただければと。

あと個別の場所、バス停については。

【事務局（谷口）】 2番目の件を先に申し上げておきます。私と長谷川のほうで、瀧柳さんから3日ぐらい前にお話があったので立川バスに状況を問い合わせるなどしまして、6月10日月曜日の大雨の日に、瀧柳さんが市役所の前からくっこバスに乗れなかったことを把握しました。

（黒板にバスの図を書く）

これはバスを正面から見たところなんですけれども、スロープをかけるんですけれども、このときはいつものくっこバスじゃなくて予備の車だったんですね、予備の車ってノンステップなんですけど床面がくっこバスより高く、かつスロープが短いんですよ。ですので、通常のくっこであれば問題ないんですが、急な角度で、こういう感じだったらいいんです。運転手さんも手伝って押ししてくれたんだけど、どうしても登れなくて結果的にお乗りになれなくて、申しわけなかったということのようです。

一つ、立川バスさんともお願いしているのは、くっこの普通の車であれば、これが長いことは実際に確認して、なおかつ床面も低いことを私と長谷川で確認しましたので、予備車ができるだけ出ないように、通常の車両ができるだけちゃんと走るようお願いしますと。今、調子の悪いことがいろいろ続いて、予備車が出ることが多くなっていて、それを、通常の車両がちゃんと出るように。

【瀧柳委員】 予備でもいいと思うので。

【事務局（谷口）】 もう一つは、予備の車でも乗り込めるようにするには、長いスロープを用意しなくてはいけなくて、耕運機を軽トラに乗せるようなスロープの長いものとか、そういうのもちょっと調べてみました。けれども……。

【瀧柳委員】 私が言っているのは、歩道のようにバス乗り場をかさ上げしてほしい。

【事務局（谷口）】 ここを高くしてほしいということですよ。通常の歩道のある道路であれば、歩道が上がっていますので、橋をかけるだけなのでスロープが短くても問題ないんですが、くっこバスは、たまたま市役所のバス停もそうなんですけど、歩道のないところを走っているところが意外とあって、そういうところはやむなく、こういう形にならざるを得なくて。ということなので、歩道のないところはどうしたらいいのか。

【事務局（中島）】 予備車のほうにスロープの長いやつを使うことは。

【事務局（谷口）】 スロープって、車の中に積んであるんですよ。

【事務局（中島）】 引き出すやつ。

【事務局（谷口）】 ええ。引き出したり、別のところから持ってきてやるので、車に乗ってあるので。予備車は予備車のスロープしか使えなくて。

【瀧柳委員】 スロープを伸ばすよりも、乗り場をかさ上げたほうが。

【事務局（谷口）】 ここに乗るための台みたいなものをつくって、それでここにスロープを渡して、車いすで乗れるようにするというのがベストなんですけど。

【瀧柳委員】 場合によってはスロープを使わなくても、バスの床と同じ高さにかさ上げしておけば、スロープは要らない。

【事務局（谷口）】 ちょっと今、対応は考えていますので、少し時間をください。

【事務局（中島）】 踏み台みたいなものをつくれればいいのでは。

【事務局（谷口）】 それから先ほど1番目におっしゃったのは、国立駅南口の、多分段差があるところ。

【事務局（中島）】 役所に備えつけで置いとけばいい。そのときだけ使えるようにして。

【事務局（谷口）】 京王バスさんは、3番乗り場と5番乗り場だったと思うんですけど、多分3番乗り場が島のようになっていて、危ないというお話で以前から伺っていますので、これは今、改修工事が始まっているんですよ。

【岡村会長】 そうですね。それはそれでどういう状況か。

【事務局（谷口）】 ちょっと申しわけないんですけど、わかっています。

【瀧柳委員】 もう何年たつか。

【事務局（谷口）】 これから改修工事が始まりますので。

【瀧柳委員】 落ちちゃったの、乗り場の幅が狭いから落ちちゃったの。

【原田委員】 で、手を挟んだのはどうなったの。

【瀧柳委員】 手は挟まなくて、たまたま隣に京王バスが来なかったから、他のお客さんが助けてくれた。

【事務局（中島）】 わかりました。ちょっと予算も絡むことなので、すぐ対処できるかというところはまた検討しますが、市役所にその長目のスロープを置いておいて、必要なときに、運転手さんはちょっと面倒くさいですけども、設置していただくような対応ができないか、検討しますので。備品になるかどうか、私どもお金があるかないかというのも含めて検討しますので、何らかの対応はしていきたいと考えています。

【岡村会長】 ちなみに、そうすると古い型だと、今の型では車いす乗降可となっているところも、現実には厳しいような状況が起こるので、市役所で乗れても逆に下りることができない可能性があるとなると、かえってこれは厳しいことが起こるわけですよ。終点まで行って、おりてくださいということになってしまうので。ちょっと対処をいろいろ考えてください。

これはなかなか、あちらが立ったら、こちらが立たないというのはたくさんあるんですけど、これはやるしかないわけで。

では、ほかはいかがでしょうか。では、委員の方からのご発言はよろしいですか。

それではあと事務局から、何か。

【事務局（長谷川）】 それでは議題は全て終わりましたので、最後に次回の日程ですが、直近、何か差し迫った議題は今のところ予定はないので、いつというのは未定でございますが、恐らく今年度あと1回程度、会議としてはあるだろうと。

30年度のコミバスとコミワゴンの報告につきましては、別途通知させていただきますので、よろしく願いいたします。

また日程等、会議がもしあればご連絡さしあげますので、またその際はよろしく願いいたします。

それでは、本日の令和元年度第1回公共交通会議は終了させていただきます。皆様、どうもありがとうございました。

— 了 —